



JCSS  
JCSS 0267

総数2頁のうち1頁  
証明書番号 \*\*\*\*\*

## 校正証明書

依頼者名 \*\*\*\*\* 株式会社  
依頼者住所 \*\*県\*\*市\*\*町\*\*番地  
校正品目名 固体屈折率標準 (屈折率標準テストピースnD1.52)  
器物番号 \*\*\*\*\*  
製造者名 株式会社アタゴ  
校正項目 屈折率  
校正方法 最小偏角法屈折率測定による校正  
校正実施場所 当社標準室  
校正結果 次頁の通り  
校正の条件 次頁の通り  
校正年月日 \*\*\*\*\*年\*\*月\*\*日

\*\*\*\*\*年\*\*月\*\*日

埼玉県深谷市小前田501

株式会社アタゴ 深谷工場

品質管理者 \*\*\* 印

- ・この証明書は、計量法第144条(第一項)に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。標章は、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面の承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。
- ・当事業所はISO/IEC 17025:2017(JIS Q 17025)に適合しています。
- ・この証明書は、ILAC(国際試験所認定協力機構)及びAPAC(アジア太平洋認定協力機構)のMRA(相互承認)に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果は、ILAC/APACのMRAを通じて、国際的に受入可能です。

### 1. 校正結果

器物番号	波長(nm)	屈折率	拡張不確かさ	温度(°C)
*****	589.3	1.52***	$2 \times 10^{-5}$	20.00

- 1) 拡張不確かさは、信頼の水準約95 %に相当し、包含係数は $k = 2$ である。
- 2) 上表の屈折率は空気に対する相対屈折率である。  
(条件 温度20.0 °C、相対湿度50 %、気圧1013 hPa)

### 2. 校正の条件

室温 : \*\*\* °C ~ \*\*\* °C  
相対湿度 : \*\* % ~ \*\* %  
大気圧力 : \*\*\*\*\* hPa ~ \*\*\*\*\* hPa  
校正実施温度: \*\*\* °C ~ \*\*\* °C

#### (特記事項)

校正証明書は校正実施時における校正結果を示すものであり、経年変化、試料の性質、取扱方法などにより、記載の数値とは異なる場合があります。

以上